

大雨の季節！ 正しい避難行動を！

ご自宅の場所をハザードマップで確認し、災害に備えましょう。

京都市長 門川 大作

問合せ 区総務・防災担当 (☎592-3066)

山科区のハザードマップで想定されている大雨による災害には **3** つの特徴があります！

1 山地等の土砂崩れ

(土砂によって建物が倒壊)

自宅が土砂災害区域内にあり、避難勧告等が発表された



2 山科川の堤防が削られる

(流水によって建物が倒壊)

山科川の水位が避難判断水位(2.2m)を超えた



3 浸水災害

(側溝等から溢れた水によって建物が浸水)

自宅周辺で浸水が始まった

↓

浸水想定(おおむね3m)よりも高い位置に逃げる場所が

ない **ある**





早めに立ち退き避難！

浸水区域外や土砂災害警戒区域外にある指定緊急避難場所や知人宅等に立ち退き避難



屋内安全確保！

浸水想定よりも高い位置に避難

※指定緊急避難場所に避難する時には、まず、開設を確認しましょう。

山科区の多くの地域は「最大浸水深さ3m未満」や「想定浸水0.5m未満」に該当
→ 自宅などの2階以上に避難することで避難を完了することができます。

「避難」＝「避難所・避難場所に行くこと」 だけではありません！

避難所の密を避けましょう

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するためにも、避難所が過密状態になることを避ける必要があります。

避難所への避難が必要か、ハザードマップで確認していただくとともに、安全な地域にある親戚や知人宅へ避難することについても、ご検討ください。

正しい避難行動を取れるよう、日頃から準備を

- ハザードマップで自宅がある地域の危険度を確認しておきましょう。
※「京都市防災ポータルサイト」で確認できます。
※山科区役所地域力推進室でも配布しています。
- 非常持ち出し品を準備しておきましょう。



マスク



アルコール
消毒液



体温計



食材



水



常備薬

- ペットの避難方法についても確認しておきましょう。
- 我が家の行動ルール「マイ・タイムライン」を決めておきましょう。